



# 漆芸の綺羅星たち

2023. 7. 29 Sat — 9. 24 Sun  
会期中無休

講演会《重要無形文化財とその保持者とは？—「わざ」を未来へ伝える仕組み—》

日時：8月27日（日）13:30～15:00

講師：原 唯 氏

（文化庁文化財第一課 工芸技術部門 文化財調査官）

会場：当館講義室（聴講無料）

\*要事前予約・詳細は公式ウェブサイトをご確認ください

開館時間 9:00～17:00（入館は閉館の30分前まで）

入館料 一般 420円／高大学生 210円

小中学生 100円

WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART

石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十菊 11 番地

TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789

<https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp>

【作品上から】《青藍蒟醬箱》2021年第68回日本伝統工芸展 山下義人：重要無形文化財「蒟醬」保持者／《漆皮金彩提盤》1990年第37回日本伝統工芸展 増村紀一郎：重要無形文化財「髹漆」保持者／《朝まだき》1991年第23回日展 佐治賢使：日本芸術院会員（いずれも石川県輪島漆芸美術館蔵）



# 漆芸の 綺羅星たち

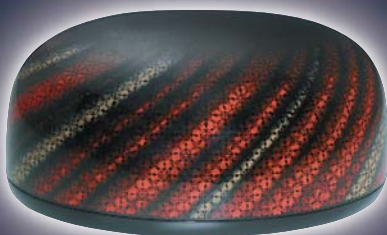
日本伝統工芸展や日展の頂点に立つ重要無形文化財保持者（人間国宝）や日本芸術院会員たちの技と美は、まさに夜空に輝く綺羅星のようです。

本展覧会では日本の漆芸界最高峰と認められた作家たちの技と多彩な表現を紹介します。漆芸の奥深い世界を、心ゆくまでお楽しみください。

2023年  
7月29日(土)  
↓  
9月24日(日)  
会期中無休



《沈金箱「花明り」》2005年  
第52回日本伝統工芸展  
前史雄：重要無形文化財「沈金」保持者



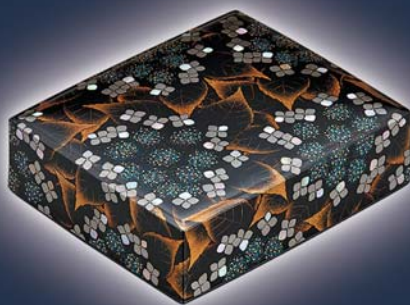
《藍胎蒔髹飾箱「茜」》2021年  
第68回日本伝統工芸展  
大谷早人：重要無形文化財「蒔髹」保持者 個人蔵



《曲輪造五彩食籠》1997年  
第44回日本伝統工芸展  
小森邦衛：重要無形文化財「髹漆」保持者



《華文玳瑁螺鈿供物盤》2003年  
第20回日本伝統漆芸展  
北村昭齋：重要無形文化財「螺鈿」保持者



《山紫陽花蒔絵箱》2014年  
室瀬和美：重要無形文化財「蒔絵」保持者  
石川県立輪島漆芸技術研修所蔵



《瑞雲群鶴漆繪蒔絵飾箱》1935～1944年  
山崎覚太郎：日本芸術院会員

※所蔵者表記のないものはすべて石川県輪島漆芸美術館蔵

## 《重要無形文化財とその保持者とは？—「わざ」を未来へ伝える仕組み—》

### 講演会

日時：8月27日(日) 13:30～15:00  
講師：原 唯 氏（文化庁文化財第一課 工芸技術部門 文化財調査官）  
会場：当館講義室（聴講無料）  
※要事前予約・詳細は公式ウェブサイトでお知らせします



## WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地  
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789  
URL <https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp>

■交通案内 飛行機：羽田空港-〔約60分〕->のと里山空港-〔車-約20分〕->漆芸美術館  
車：金沢市内-〔のと里山海道利用-約100分〕->漆芸美術館

〈自家用車・大型バス駐車場有（無料）〉

道の駅・輪島ふらっと訪夢  
バス：金沢駅-〔北鉄バス輪島特急線-約120分〕->「輪島駅前」下車  
乗換え-〔のらんげバス 海コース-約10分〕->「漆芸美術館」下車  
徒歩：道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」-〔約15分〕->漆芸美術館

### 次回展覧会

特別展「漆風怒濤—現在を駆け抜ける髹漆表現—」  
10月1日(日)～11月26日(日)

※最新情報は当館公式ウェブサイトなどでご確認ください。